

新典社 書籍注文書

TEL : 03-3233-8051 FAX : 03-3233-8053

Mail : info@shintensha.co.jp

取次番線印

ご発注日: 年 月 日
書店名:
書店コード:
ご担当者様名:
取次:
番線:
電話:
FAX:
MAIL:
コメント欄:

〈注意〉

※番線印ははっきりとご押印ください。

※お送りいただく注文書は、番線印の入った当ページの他、必要なページのみで差支えございません。

※価格は本体価格表記です。

※注文部数欄にスラッシュの入った書籍はご注文いただけません。

※在庫僅少などの理由でご注文いただけない場合もございます。ご了承ください。

※在庫の確認はお電話でも承っております。

※ご返信内容を読み取ることが難しい場合には、折り返しご連絡申し上げますので、
ご連絡先のご記入をお願い申し上げます。

その他、ご不明な点などがございましたら、電話番号またはメールアドレスに、
お気軽にお問い合わせください。

株式会社 新典社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-11

TEL03-3233-8051/FAX03-3233-8053

担当: IT事業部 工藤健司

Mail: info@shintensha.co.jp

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	清水婦久子 著 光源氏と夕顔—身分違いの恋— 978-4-7879-6101-3 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 1 『源氏物語』で人気のヒロインの一人、夕顔。彼女の人物像が、一つの和歌をどう読むかで一変する! 通説の矛盾に鋭くせまり突きくずす中から、古典の面白さ、そして光源氏と夕顔二人の本当の恋のすがたが見えてくる。
注文部数 冊	笹本正治 著 戦国時代の諏訪信仰—失われた感性・習俗— 978-4-7879-6102-0 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 2 その日、諏訪大社の水が赤く染まった—あの武田信玄も怖れ、信仰していた大社に起こった異変を、当時の人々はどう受け止めたのか。現代の日本人が失いつつある感性を、戦国時代からまなぶ。
注文部数 冊	井上泰至 著 〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉 978-4-7879-6103-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 3 芭蕉・西鶴・近松・蕪村・上田秋成・平賀源内など、江戸時代の文学者たちが残したさまざまな「悪口」を通して、彼らの知られざる人間ささや作品の魅力にせまる、まったく新しいタイプの江戸文学入門。
注文部数 冊	志村有弘 著 のたれ死にでもよいではないか 978-4-7879-6104-4 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 4 知られざる作家たちの生と死—大泉黒石・森清秋・永見徳太郎・種田山頭火・藤澤清造・松原敏夫—評価されないまま、世間に埋もれ死んでいった六人の文人たちがのこしたことは、ドラマチックな人生を、その強烈な人間性・作品に魅せられた著者が鮮やかに描き出す。
注文部数 冊	鷲山茂雄 著 源氏物語—語りのからくり 978-4-7879-6105-1 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 5 「紫の上」の名前に隠された危険な真実—物語の語り手たちによって繰り出される言葉のトリックに注目すれば、『源氏物語』はもっと面白くなる。
注文部数 冊	諏訪春雄 著 天皇と女性霊力 978-4-7879-6106-8 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 6 天皇制を支えてきたのは女性の霊力である—日本人の宗教観に根づく女性霊力とその価値観が、どのように継承・変質したかを探り、日本人とは何か、また日本における女帝のゆくえにせまる。
注文部数 冊	白石広子 著 バタヴィアの貴婦人 978-4-7879-6107-5 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 7 江戸時代、パテレン追放令により国外へ追放された人々がいた。異国の地にあつて誇り高く生きた「じゃがたらお春」の人生を、当時のバタヴィアや、ヨーロッパに日本ブームをもたらしたケンペルの残した記録などを元に鮮やかに描き出す。
注文部数 冊	廣川晶輝 著 死してなお求める恋心—「菟原娘子伝説」をめぐって— 978-4-7879-6108-2 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 8 二人の男性に求愛されてしまった! その時、彼女はどうか? 万葉集では大伴家持ら有名歌人の歌のモデルとなり、後に物語や謡曲、そして森鴎外の作品の題材にまでなった菟原娘子。日本人の心を惹きつけてやまないその伝説の魅力とは? 人々が受けつぎ、つむぎ、そして生まれた、ひとつの新たな文学史のかたち。
注文部数 冊	吉成直樹 著 酒とシャーマン—『おもろさうし』を読む 978-4-7879-6109-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 9 いにしへの琉球王国の香りを伝える歌謡集『おもろさうし』。ひとびとの信仰と酒との関わり注目して、歌を読み解いていくと、知られざる沖縄文化の深層が見えてくる。
注文部数 冊	福寛美 著 喜界島・鬼の海城—キカイガシマ考— 978-4-7879-6110-5 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 10 南の海に浮かぶサンゴ礁の島、喜界島。ヤマト(日本)と琉球王国それぞれの文化圏の境界にあり、また「貴」「鬼」など、さまざまなイメージで記され伝えられてきたこの島の真の姿に迫る。
注文部数 冊	廣岡義隆 著 萬葉の散歩みち 上巻 978-4-7879-6111-2 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 11 日本に現存する最古の歌集『萬葉集』。様々な視点からながめてみると、新鮮な発見がうかがえ、それぞれの生活や意見が鮮明に見えてくる。物語や、人々の思い、そして今や知る人も少ない美しいことばの数々…。萬葉びとの世界を自由にすざろ歩く楽しい散歩みち。
注文部数 冊	廣岡義隆 著 萬葉の散歩みち 下巻 978-4-7879-6112-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 12 日本に現存する最古の歌集『萬葉集』。様々な視点からながめてみると、新鮮な発見がうかがえ、それぞれの生活や意見が鮮明に見えてくる。当時の風習や人生観、旅と自然との関わりなど、萬葉集の世界がより一層身近に感じられる、楽しい散歩みち。
注文部数 冊	堀切実 著 偽装の商法—西鶴と現代社会 978-4-7879-6113-6 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 13 後を絶たない偽装事件。江戸に暮らした人々も、同じような目に遭っていた。西鶴の鋭い観察眼を通して、偽物を見抜く力を養う一冊。
注文部数 冊	大輪靖宏 著 待つ女の悲劇 978-4-7879-6114-3 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 14 携帯電話もパソコンメールもない時代。帰らぬ男をひたすら待つか。ただ待つだけでは済まなかった、江戸の「待つ女」たちの姿とは。
注文部数 冊	渋谷栄一 著 源氏物語の季節と物語—その類型的表現 978-4-7879-6115-0 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 15 源氏物語の登場人物がたどる、生・病・死、恋と別れなどを主題とした壮大な物語世界を、季節の描写、その背景との関係から読み解く。
注文部数 冊	佐伯雅子 著 平家物語の死生学 上巻 978-4-7879-6116-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 16 平氏の栄華と没落の様子がドラマチックに描かれた平家物語。過酷な状況の中で登場人物たちは、自らの「死」をどのようにとらえ、そして向き合ったのか。物語を読み解きながら、その死生観にせまる。

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	佐伯雅子 著 平家物語の死生学 下巻 978-4-7879-6117-4 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 17 平氏の栄華と没落の様子がドラマチックに描かれた平家物語。過酷な状況の中で登場人物たちは、自らの「死」をどのようにとらえ、そして向き合ったのか。物語を読み解きながら、その死生観にせまる。
注文部数 冊	田中善信 著 芭蕉—俳聖の実像を探る 978-4-7879-6118-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 18 死後、「俳聖」と記され、神とまであがめられた松尾芭蕉。偉大な俳人の、その知られざる生涯にせまる。
注文部数 冊	岩坪健 著 光源氏とティータイム 978-4-7879-6119-8 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 19 衣装・化粧・マナー・恋愛・出産・死生観…。『源氏物語』のおもしろい箇所、王朝文化の魅力をセレクトしたロイヤルブレンドの一冊。光源氏とともに人生を歩んできた、ある青年がおくるティータイムのおしゃべり。
注文部数 冊	小野恭靖 著 ことば遊びへの招待 978-4-7879-6120-4 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 20 なぞ・判じ物・回文・倒言・アナグラム。古くから愛されてきたことば遊びの歴史をたどりながら、解き方やポイントを紹介します。
注文部数 冊	吉丸雄哉 著 武器で読む八犬伝 978-4-7879-6121-1 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 21 曲亭馬琴が二十八年の歳月をかけて刊行した『南総里見八犬伝』。見せ場の多くはその戦いの場面であり、登場人物たちのキャラクターやシチュエーションに合わせて、様々な武器が登場する。武器の描写に馬琴がどんな意匠を凝らしたのか。スペクタクルを演出する武器から「八犬伝」を読む。
注文部数 冊	北島信一 著 神の香り秘法の書—中国の摩崖石経・上— 978-4-7879-6122-8 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 22 1400年程前の中国、北齊の国に、自然の岩に経典や仏名を刻みつけてまわった一人の僧侶がいた。今なお残る巨大モニュメントのその時代背景と、作り上げた僧侶の信仰。またそこに使われている様々な特殊文字の意味を解き明かす。
注文部数 冊	深沢徹 著 都市空間の文学—藤原明衡と菅原孝標女— 978-4-7879-6123-5 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 23 漢文学の藤原明衡と、かな文学の菅原孝標女。文化的な立場が大きく異なるふたりは、平安京という都市空間に時をほぼ同じくして生きていた。仏教的厭世観がただよう末法の世で、ふたりはそれぞれの文学にどんなしぐさやことばを書きつけたのか。思いがけない出会いは、現代のわたしたちにさえ、まだない未来への導きを提示する。
注文部数 冊	吉海直人 著 百人一首かるたの世界 978-4-7879-6124-2 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 24 人気のゲームとして、大衆に広く親しまれている百人一首かるたの文化的変遷とは。江戸期に華やかさを競ったかるたから、雑誌付録のかるた、大戦中ならではのかるたまで。百人一首グッズコレクターでもある著者所蔵のかるたが舞う。見たことのない多種多様なかるたの図版が満載。
注文部数 冊	古田島洋介 著 これならわかる返り点—入門から応用まで— 978-4-7879-6125-9 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 25 漢文の授業やテストの時に、多くの人がおそろおそろ書き込んでいたあの「返り点」。その体系的な知識が、この一冊を読めば自分のものに!漢文がぐっと身近なものになる、画期的な一書。
注文部数 冊	高橋博巳 著 東アジアの文芸共和国—通信使・北学派・兼葭堂— 978-4-7879-6126-6 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 26 江戸時代二百六十年を通じて、朝鮮通信使の来日は十二回を数える。通信使には、儒学や漢詩にすぐれた者が随行しており、日本国内の文人と国境やことばの壁を越えた文化交流を果たしていた。制約の多い時代にあつて生まれたこの「文芸共和国」とも称すべき心の交流を掘り起こし、さらには通信使帰国後の記録から、交流の偉績を見出す。
注文部数 冊	辰巳正明 著 歌垣—恋歌の奇祭をたずねて 978-4-7879-6127-3 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 27 多くの男女が集い、お互いに歌をやりとりしながら思いを通わせてゆく恋歌の祭典、それが「歌垣」。中国の西南部で現在も行なわれている歌垣のようすを探り、また日本でかつて行なわれていた歌垣について、その状況を様々な資料から明らかにすることで、万葉集以来、今なお息づく歌の文化とそのルーツにせまる。
注文部数 冊	小谷野純一 著 紫式部日記の世界へ 978-4-7879-6128-0 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 28 おのが心の奥底に「暗闇」をかかえる書き手、紫式部は研ぎ澄まされた鋭利な眼差しで周囲と自らを見つめ、自在に日記を紡いでいく。整然と長編物語を織りなした紫式部の、日記における柔軟すぎるほどの表現世界。単なる記録の営みから飛躍していく『紫式部日記』を鋭く読み解く。
注文部数 冊	吉田弥生 著 芝居にみる江戸のくらし 978-4-7879-6129-7 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 29 江戸時代の人々は、自分たちの生きている時代を自ら最良にし謳歌していたという。だからこそ、そのくらしぶりは江戸人たちのあこがれであった歌舞伎の舞台にもいきいきと登場する。人気役者の衣装、日本食の定番メニュー、江戸の住居や芝居小屋。江戸時代から現代まで人気の芝居、歌舞伎から抜き出した、めくるめく江戸の粋。
注文部数 冊	楠元六男 著 我を絵に看る—芭蕉の甲斐行— 978-4-7879-6130-3 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 30 芭蕉という一個人の人生の転機。それは、甲斐へ旅立つ前の数年間に集約されている。江戸の大火遭遇から甲斐へ避難する道程で、芭蕉はおのれを見つめる深遠な視点を獲得し、やがて旅人へと変貌していく。甲斐行において詠まれた句、時代状況・俳壇状況などから、旅人・芭蕉誕生の原点をさぐる。
注文部数 冊	熊谷義隆 著 源氏物語 二つのゆかり—継承の主題と変化— 978-4-7879-6131-0 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 31 桐壺更衣に端を発し、藤壺、紫の上へとつながる「紫のゆかり」と、桐壺更衣から明石君へと流れる血縁がなす「復権のゆかり」。二つのゆかりは、光源氏の運命を定めた三つの予言の間にたゆたい、長編物語を構築する。表には見えない物語や、作者紫式部の隠された意図をも乗せ、一貫して源氏物語を支えているものとは。
注文部数 冊	石黒吉次郎 著 御家騒動の物語—中世から近世へ— 978-4-7879-6132-7 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 32 中世の能や御伽草子が編み出した武家騒動のストーリーは、戦国の乱世を経た近世に、御家騒動物として確立する。演劇や物語に展開し、人々の注目を集めた主導権争いや相続問題。うずまく裏切りや忠誠心。いつの世にも通じる人間たちの営みを「御家騒動の物語」へと仕立てた、そのドラマツルギーを中世にたどる。

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	綿拔豊昭 著 礼法を伝えた男たち 978-4-7879-6133-4 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 33	人と人が付き合うためにはルールが必要である。日本の礼儀作法は、戦国期から現代まで脈々と受け継がれ、日本人のアイデンティティを形成する文化としての一面を持っている。どのような人々が礼法を学び、教え伝えてきたのか。「人」からたどる礼儀作法の文化史。
注文部数 冊	森岡ゆかり 著 文豪だって漢詩をよんだ 978-4-7879-6134-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 34	日本近代文学を代表する七人の文豪。彼らは漢詩を愛読し、また自ら詠むことで、日本語の優れた使い手としての語彙や表現を磨き上げてきた。漢詩と文豪たちの、ときに微笑ましいまでの逸話は、漢詩をぐっと身近に感じ、近代日本文学をより面白く読むためのエッセンス。
注文部数 冊	宮崎莊平 著 清少納言「受難」の近代—「新しい女」の季節に遭遇して— 978-4-7879-6135-8 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 35	「王朝の二大才媛」として、長いあいだ並び高く評価されてきた紫式部と清少納言。だが、大正デモクラシーの風が吹き荒れる近代、清少納言ひとりのみが、不当な非難にさらされた。『青鞥』や平塚らいてうが脚光を浴びる中でたち現れた「新しい女」というあり方、そして「新しい女」への苛烈な集中砲火。時代風潮ゆえに清少納言が遭遇した「受難」の季節を明らかにする。
注文部数 冊	杉下元明 著 男はつらいよ 推敲の謎 978-4-7879-6136-5 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 36	大人気の映画「男はつらいよ」シリーズには決定稿だけではなく、準備稿を含め数多くの脚本が残されていた。推敲の中で、ストーリーやキャラクターはどのように練り上げられていったのか。昭和四十四年八月に封切りの第一作から平成七年十二月の第四十八作まで、全四十八作それぞれの関連原稿を比較し、「寅さん」の生まれる過程を追いかける。
注文部数 冊	志水義夫 著 古事記の仕組み—王権神話の文芸— 978-4-7879-6137-2 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 37	日本現存最古の古典文学、古事記。「王権の書」という従来の研究成果を踏まえつつ、アニメやコミックに囲まれて育った世代に向けて、エンターテインメントとしての読み方を提供。古事記神話の構造は、ウルトラマンやポケモンにも共通している!? 痛快なオリジナル訳とこまマンガで、「古典」のかたいイメージを破壊しつつ、通説からの脱却、さらには成立論にも挑む。
注文部数 冊	西條勉 著 千と千尋の神話学 978-4-7879-6138-9 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 38	異郷訪問談話の中でも高い人気を誇る、スタジオジブリ映画『千と千尋の神隠し』。なぜ、こんなにも魅力的なおもしろいのか。日本古代文学研究の第一人者である著者が、数ある異郷訪問型のストーリーと比較しつつ、神話学の観点から千と千尋を読みとく。トンネルの向こうの、不思議の町に仕込まれた神話の構造とは。
注文部数 冊	廣田収 著 『宇治拾遺物語』の中の昔話 978-4-7879-6139-6 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 39	鎌倉初期に成立した説話文学『宇治拾遺物語』には、近代まで語りつがれた「昔話」とよく似た話がある。口承の昔話と説話文学を重ねて、浮かび上がってくる違い、つまりそれぞれの特質とは? 共通する「話型」を軸に東アジアやヨーロッパにまで視界を広げ、『宇治拾遺物語』の読みが時空をまたぐ。
注文部数 冊	天野紀代子 著 跳んだ『源氏物語』—死と哀悼の表現— 978-4-7879-6140-2 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 40	仮名で物語をつづることがはじめられて間もないころ、空前絶後の傑作『源氏物語』は誕生した。これほど壮大にして精妙なフィクションが、なぜ創出されたのか。光源氏の母の死に始まり、物語を底底する死と哀悼を縦軸に、筆者紫式部が目にしてきた「絵」に焦点をあて、源氏物語が跳んだ軌跡を辿る。
注文部数 冊	堤和博 著 和歌を力に生きる—道綱母と蜻蛉日記— 978-4-7879-6141-9 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 41	平安王朝の人々は現代人には想像も及ばないほど、和歌を重要視していた。そのなかでも、ことに和歌の才能に恵まれ、和歌に強いこだわりをもって生きていた、藤原道綱母。散文で書かれた表面だけでは蜻蛉日記の真相は分からない。とくに上巻前半部、和歌の重要性に目を向けると、あえて書かれなかった真実や道綱母の意図が明らかになる。
注文部数 冊	伊藤陽寿 著 「危機の時代」の沖縄—現代を写す鑑、十七世紀の琉球— 978-4-7879-6142-6 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 42	一六〇九年、沖縄(琉球王国)は薩摩の侵攻に会い、占領下となる。新たに発生した経済的負担や対外関係の変化など、先行きの全く見えない状況下で、沖縄はこの「危機の時代」をどのようにして乗り越えてきたのか。その過程を追うことで、同じく「危機」と「変化」の時代を生きる現代の日本が進むべき道をさぐる。
注文部数 冊	北島信一 著 神の香り秘法の書—中国の摩崖石経・下— 978-4-7879-6143-3 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 43	およそ一四〇〇年前の中国、北齊の国が遺した摩崖石経。山崖に刻まれた文字の神秘が明らかになった上巻につづき、下巻ではいよいよ摩崖石経の造営意義に迫る。なぜ石経は刻まれたのか、そしてなぜその造営は突如として中断されたのか。信仰、人物、歴史を付き合わせたとき、浮かび上がってきた真実とは。知られざる壮大な遺跡、その謎と意義がいま明かされる。
注文部数 冊	大島裕子 著 智恵子抄の光景 978-4-7879-6144-0 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 44	芸術家として彫刻や油絵を創作しながら、光太郎は智恵子へ思いを詩に託した。哀しくも美しく、ときに烈火のようですらあった二人の愛。そして、それを詩に結晶させた光太郎の芸術観。『智恵子抄』が誕生した背景へ、あたたかな光をそそぐ珠玉の一冊。
注文部数 冊	妹尾好信 著 昔男の青春—『伊勢物語』初段~16段の読み方— 978-4-7879-6145-7 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 45	よく知られた古典でありながら、断片的な章段のみ扱われがちな伊勢物語。主人公の人間性、物語に仕掛けられた謎など、全体を通してこそ分かる魅力を昔男の「青年期」から読み解く。
注文部数 冊	榎本正純 著 涙の美学—日本の古典と文化への架橋— 978-4-7879-6146-4 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 46	日本文学における「涙」の描写は感情表現に欠かせないものとして、古典から近現代まで脈々と受け継がれている。古典の源氏物語、平家物語、奥の細道。近現代では川端康成の「千羽鶴」など、文学作品の「涙」描写に通底する概念をさぐり、さらには「日本の私」のありようにも迫る。
注文部数 冊	福寛美 著 琉球の恋歌—「恩納なべ」と「よしや思鶴」— 978-4-7879-6147-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 47	琉歌の女流歌人として知られる「恩納(おんな)なべ」と「よしや思鶴(うみつる)」。なべは素朴にひたむきな愛を歌い、遊女よしやは技巧的に悲恋を歌った。多くの人々に愛唱され語り継がれる中で、構築されていくなべとよしやの人物像。ふたりの作とされる歌には、琉球の時代を生きた人々の思いや憧憬がこめられている。
注文部数 冊	小俣喜久雄 著 初代都太夫—中の浄瑠璃—音曲に生きた元住職— 978-4-7879-6148-8 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 48	上方文化が最も華やいた江戸元禄期。初代都太夫一中は、寺の住職でありながらその身分を捨てて還俗し、ついには浄瑠璃の一流派を築いた。座敷で芸を磨き、はんなりとした語りで人気を博したその活躍は上方にとどまらず、江戸での舞台出演にも及ぶ。現在まで連続と続く、一中節草創期の姿、そして系譜。

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	城崎陽子 著 万葉集を訓んだ人—「万葉文化学」のころみ— 978-4-7879-6149-5 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 49 万葉集はどう訓み解かれてきたのか。平安京における万葉仮名の訓じ方、契沖・宣長ら江戸の国学者たちの解釈、そして近代まで。訓む人々の情熱や時代のあり方が見える万葉集の享受史。
注文部数 冊	太田敦子 著 源氏物語 姫君のふるまい 978-4-7879-6150-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 50 言葉少なな深窓の姫君たち。だが、源氏物語がふとした合間に描く“ふるまい”にその思いはこめられている。冷談だと思われがちな葵の上。女三宮が柏木に見せた立ち姿と見返り姿の意義。死にゆく紫の上の手のゆくえ…。ささやかなふるまいから浮かび上がる姫君たちの真実。
注文部数 冊	山田利博 著 アニメに息づく日本古典—古典は生きている— 978-4-7879-6151-8 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 51 古事記従来の研究成果を踏まえつつ、アニメコミック世代に向けエンターテイメントとしての読み方を提供。痛快なオリジナル訳と一コママンガで通説からの脱却、さらには成立論にも挑む。
注文部数 冊	堤和博 著 紫式部・定家を動かした物語—謙徳公の書いた豊蔭物語— 978-4-7879-6152-5 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 52 藤原伊尹(謙徳公)が自分を卑官の人物・倉橋豊蔭に仮託し、八人の女性たちとの恋愛遍歴を歌物語風につづった、豊蔭物語。その内容については、源氏物語の柏木と女三の宮の恋物語を紫式部が着想する契機にもなったといわれ、物語中の冒頭和歌は小倉百人一首にも収載された。紫式部と藤原定家を動かした作品でありながら、知られざる古典であった豊蔭物語を読む。
注文部数 冊	小野恭靖 著 ことばと文字の遊園地 978-4-7879-6153-2 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 53 江戸時代のことば遊びは、現代の絵文字やギャル文字にも通じていた!?日本人が日本語を面白がり日本語を楽しむ心は、今も昔も変わらない。早口言葉や、尻取り、無理問答、=(きょ)字、鈍字など江戸のことば遊びから、現代ミステリ小説におけることば遊びまで。ことばと文字のアトラクションで楽しむ遊園地。
注文部数 冊	濱中修 著 女神たちの中世物語 978-4-7879-6154-9 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 54 鳥羽院に取り入る狐の化身・玉藻前。零落した色好みの歌人・小野小町。荒乳山で異形の子を生んだ京極御息所。小栗判官を救済する犠牲の恋人・照手姫。類まれな美貌をもち愛欲や宿業に迷いながら、それゆえにこそ彼女たちは観音や菩薩ともなった。中世の女性観・宗教観が生んだ、聖なる四人の女神たち。
注文部数 冊	半沢幹一 著 向田邦子の比喩トランプ 978-4-7879-6155-6 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 55 向田邦子は、作品の中でトランプマジックのように次々と魅力的な比喩表現を繰り出してくる。読者が思わず立ち止まり、そして唸らされる比喩の数々。短編集『思い出トランプ』からその卓越した比喩を抜き出し、向田作品を読む際の「読者の楽しみ」方を探る。没後三十年記念、向田邦子が仕掛けたマジックを再発見し、よりよく知るための一冊。
注文部数 冊	福寛美 著 夜の海、永劫の海 978-4-7879-6156-3 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 56 日本神話におけるヒルコの世界への放逐と再生。死出の旅路が天空の水界として描かれる『銀河鉄道の夜』。その他、万葉集や『タイタニック』など、神話や物語に描かれた「海」の意義とは。
注文部数 冊	岩坪健 著 ウラ日本文学—古典文学の舞台裏— 978-4-7879-6157-0 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 57 よく知っている日本古典文学の知られざる舞台裏をご紹介します。知らなかった裏側に目を向けて、いつもと違う角度から見れば「ただ丸暗記でつまらない」と思っていたものもこんなに楽しくなる。
注文部数 冊	瀬川拓郎 著 コロポックルとはだれか—中世の千島列島とアイヌ伝説— 978-4-7879-6158-7 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 58 おとぎ話と思われがちな小人「コロポックル」の伝説。史料をもとにその原像をたどると、知られざる北千島アイヌの成り立ちや、かれらの変わった習俗が浮かび上がってくる。
注文部数 冊	井上さやか 著 万葉集からみる「世界」 978-4-7879-6159-4 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 59 人々の恋愛観・天皇の日常・大都市の様相…など、万葉集には遠い時代のきらきらしい「世界」が詰まっている。歌一首一首を愉しみ、その文化に憧憬し、さらには現代を写す鏡のような事象を見いだしながら、万葉集から広がる多様な世界の切り口と垣間見の仕方をご案内。
注文部数 冊	鈴木元 著 つける 連歌作法閑談 978-4-7879-6160-0 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 60 平安前期に生まれ、室町時代の隆盛から江戸に至り、俳諧にも大きな影響を及ぼした連歌。五七五と七七を別人が詠む「つける」行為はどのように行われたか。文芸形態および言語遊戯としての側面にあらゆる角度から光をあて、連歌の本質のかつ根源的なたのしみと、連歌にのめり込んだ人々の熱気を知る。
注文部数 冊	瀬川拓郎 著 アイヌの沈黙交易—奇習をめぐる北東アジアと日本— 978-4-7879-6161-7 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 61 千島アイヌは、北海道本島のアイヌと直接接触したり言葉をかわしたりすることのない、沈黙交易をおこなっていた。この奇妙な習俗がおこなわれた謎を解く手がかりとして、沈黙交易の事例を紹介しつつ、千島アイヌのケガレ祓いの呪術に着目する。北東アジアや日本との関係における、アイヌの習俗そしてイデオロギーとは。
注文部数 冊	志水義夫 著 少年少女のクロニクル—セラムン、テツジン、ウルトラマン— 978-4-7879-6162-4 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 62 昭和全盛期に生まれ、大人たちに「理解できない子どもたち」というレッテルを貼られた「新人類」の少年少女たちは、自らを『機動戦士ガンダム』に登場する特殊能力者「ニュータイプ」になぞらえた。彼らが生まれて半世紀、今やコミックやアニメは研究世界での市民権を得るに至った。その歩みを、魔法少女、ロボット、変身ヒーローというキャラを通してふりかえる。
注文部数 冊	廣岡義隆 著 萬葉の散歩みち—統一— 978-4-7879-6163-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 63 日本現存最古の歌集にして、日本文化の根底をなす華、『万葉集』。そこに収められた歌の詠み手に着目し、詠み込まれたみやびに目を向け、歌が読まれた背景を辿り…。様々な視点で萬葉びとたちの豊かな世界を眺め、ゆつたりとすずろ歩く散歩みちに、待望の続編が登場。
注文部数 冊	馬上駿兵 著 文豪たちの「？」な言葉 978-4-7879-6164-8 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 64 あの夏目漱石が「全然悪いです」と用いていた!(悪くない、とすべき?)岡本綺堂らに「役不足」の用例をたどり(力不足?)、その他、田山花袋の「女に別れる」(女と?)、芥川龍之介の「仕度をしれい」(しろ?)など。名作の中から、現代日本語の基準で見れば「？」と思われるような言葉を拾い上げ、その表現や背景から日本語と日本文学の豊かな世界へといざなう。

◆◆ 新典社新書シリーズ ◆◆

注文部数 冊	福寛美 著 ぐすく造営のおもろー立ち上がる琉球世界— 978-4-7879-6165-5 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 65	琉球の聖域であり、多くの謎に包まれた存在、ぐすく。琉球王国官撰の神歌集である『おもろさうし』には、ぐすく造営の歌群が残されている。史書には明文化されることのなかったぐすくの真相を、同時代の歌であるおもろから拾い上げ、その造営の謎を解く手がかりを探りだす。
注文部数 冊	半沢幹一 著 向田邦子の思い込みトランプ 978-4-7879-6166-2 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 66	向田邦子の短編集『思い出トランプ』に著者が仕掛けたトリックから新たな読みの可能性を探る。人は思い込み、そして謎が生まれる。
注文部数 冊	山田利博 著 知ったか源氏物語 978-4-7879-6167-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 67	誰もが知っているけれど、実際に読んだ人は少ない作品『源氏物語』。『平家物語』との関係は?光源氏の仕事は?『源氏物語』の映画や現代語訳にはどんなものが?『源氏物語』にまつわるさまざまな質問に、専門家である著者が明快に回答。この一冊であなたも「源氏博士」に!?
注文部数 冊	中本真人 著 宮廷の御神楽—王朝びとの芸能— 978-4-7879-6168-6 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 68	神楽—全国各地で行われているにもかかわらず、そのルーツはよく知られていない。平安時代の天皇を魅了し、貴族たちを夢中にさせた御神楽とは、どのような行事であったのか。知られざる王朝びとの芸能文化に光を当てる本格的な御神楽入門書。
注文部数 冊	野村幸一郎 著 京アニを読む 978-4-7879-6169-3 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 69	なぜ、思春期を生きる少年少女たちは京アニの紡ぎ出す物語に惹かれるのか—そして、なぜ彼ら彼女らはずっと憧れていた“何か”をそこに発見するのか—京アニ作品『涼宮ハルヒの憂鬱』『CLANNAD』『けいおん!』『Free!』『中二病でも恋がしたい!』『響け!ユーフォニアム』を通して、現代における少年少女の居場所と、そこでの成長の物語を読み解く。
注文部数 冊	馬上駿兵 著 [文法]であじわう名文 978-4-7879-6170-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 70	言葉に注目し名文を読み解くと、文法的小おかしく感じられる表現にも、実は作者の心遣いが籠められている事がわかる。[文法]を通じて作品をより深くあじわう、ひと味変わった文学案内。
注文部数 冊	志水義夫 著 魔法少女まどか☆マギカ講義録—メディア文藝への招待— 978-4-7879-6171-6 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 71	衝撃的な展開と結末で話題を呼んだアニメ『魔法少女まどか☆マギカ』。観る者をひきつけるその物語、人物たちはどのようにして生まれたのか。アニメ・特撮作品も「メディア文藝」として国文学の流れの一つと考える著者が、「まど☆マギカ」の作品世界をつぶさに読み解く。開講時にインターネット上でも大きな話題となった人気講義が待望の書籍化。
注文部数 冊	西原志保 著 『源氏物語』女三の宮の〈内面〉 978-4-7879-6172-3 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 72	『源氏物語』の女君の中でも特に「内面がない」とみなされがちな人物、女三の宮。しかし先入観を排除してその言葉に耳を傾ければ、現代の女性にも似通うその人物像が明らかになる。
注文部数 冊	濱田浩一郎 著 超口語訳 徒然草 978-4-7879-6173-0 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 73	人間論・政治論・恋愛・住居論・心理など幅広い分野の話が収められている、日本三大随筆の一つ『徒然草』。本書ではその中から現代人にも役に立つエピソードを選び、わかりやすい口語訳で紹介。
注文部数 冊	馬上駿兵 著 重箱の隅から読む名場面 978-4-7879-6174-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 74	作家達は重箱の隅にもおいしいご馳走を詰め込んでいた! 向田邦子『思い出トランプ』に描かれた月、志賀直哉『暗夜行路』の助動詞の使い方、夏目漱石『道草』での会話の引用の仕方…。普段なら気にも留めずに読み飛ばしてしまうような些細な言葉をじっくり見て行くと、名場面を今までよりもっと深く味わえる。重箱の隅をつつく読み方の奨め。